

中学生への出前授業

実施報告書

足利市議会

2020年2月

1 実施概要

(1)目的

議会の仕組みや市議会議員の役割について議員自らが説明することにより、生徒に地方議会に対する興味・関心を持ってもらうこと。

(2)日程

令和元年11月～12月中

(3)対象校

市立中学校11校

(4)内容

市議会のしくみについての説明及び各クラスでの質疑応答

2 実施結果

(1)実施校

対象校のうち実施希望のあった8校（第二中学校、第三中学校、毛野中学校、山辺中学校、北中学校、富田中学校、協和中学校、愛宕台中学校）

(2)実施日及び参加者数等

学校名	実施日時	参加人数 (クラス数)	担当議員	備考
山辺 中学校	11月25日（月） 午後2時00分 ～午後3時00分	195名 （6）	藤本、中島、鶴貝、須田、 杉田、横山、大須賀、荻原、 渡辺、黒川、中山、平塚	
毛野 中学校	11月28日（木） 午後1時35分 ～午後2時20分	121名 （4）	鳥井、中島、大谷、金子、 栗原、柳、中山、西田	
富田 中学校	12月2日（月） 午後2時00分 ～午後2時50分	24名 （1）	小林、斎藤	
第二 中学校	12月4日（水） 午後2時5分 ～午後2時55分	73名 （3）	鶴貝、末吉、吉田、冨永、 尾関、黒川	
北 中学校	12月5日（木） 午後2時20分 ～午後3時10分	111名 （4）	藤本、中島、杉田、横山、 大須賀、荻原、中山、平塚	

協和 中学校	12月5日(木) 午後2時50分 ～午後3時15分	145名 (5)	鳥井、須田、大谷、金子、 吉田、富永、栗原、柳、渡辺、 酉田	
愛宕台 中学校	12月7日(土) 午前8時50分 ～午前10時5分	57名 (2)	末吉、金子、栗原、尾関	土曜日授業 での実施
第三 中学校	12月23日(月) 午後2時50分 ～午後3時35分	64名 (2)	藤本、小林、斎藤、平塚	

(3)出前授業の中で出された生徒からの質問や意見等(抜粋)

【足利市政等について】

- ・足利で行っている代表的な政策は何か。
- ・現在の足利市の課題は何か。
- ・足利花火大会や尊氏公マラソン大会で市が出している事業費はいくらか。
- ・足利市の少子高齢化についてどのような考えを持っているのか。
- ・将来の有権者である自分たちは、どんなことを心がけていくべきか。

【議会について】

- ・台風被害のとき、市議会はどのような話し合いをしたのか。
- ・自分たちの声は市政に届くのか。
- ・市民の要望をかなえるために、どれだけの期間や費用がかかるのか。
- ・足利市に新しい条例をつくるとしたら、どんな条例をつくるのか。
- ・本会議が年4回の理由は何か。

【議員について】

- ・なぜ議員になったのか。
- ・議員になってうれしかったことや、やりがいは何か。
- ・議員になって大変だったことは何か。
- ・年収はどのくらいか。
- ・議員は会議のとき以外はどのような仕事をしているのか。

【意見・要望等】

- ・市のPRをもっとしたほうがいいのではないか。
- ・中高生が集中して勉強できる施設をつくれないうか。
- ・足利市を若者が希望の持てるまちにしてほしい。
- ・街灯をふやしてほしい。
- ・大きなデパートをつくってほしい。

(4)参加者の感想（アンケートから抜粋）

【授業全般について】

- ・正直最初は余り興味がなかったけど、議員の話を聞いて足利市の市議会などについていろいろ知ることができ、興味を持つことができた。
- ・なかなか聞けなかったり、知らなかった情報を知ることができ、私の中で知識をふやすことができたのでうれしかった。
- ・議員の考えていることなどが知れてとてもよかった。
- ・自分が知らなかったことを聞いたのでとてもよい出前授業だった。なので、親にもきょうのことを伝えたいと思った。
- ・政治や地方自治について深く知ることができた。これから社会人になっても政治についてよく考えて、地元の足利市について考えたい。足利のためになることもしてみたいと思った。
- ・授業を受ける前の印象とは真逆なところもあり驚いた。
- ・市議会について少し興味が出てきた。今度、会議の様子を見に行ってみたい。
- ・税金の使い道がわかった。
- ・市議会のしくみの説明がよくわからなくて、最初のほうは全く頭に入ってこなかった。でも議員の話を聞いてよくわかったのでよかった。
- ・仕事が多くて忙しいけど、議員になるのも少しだけいいなと思った。
- ・授業で習ったことを、より深く知れる機会になった。
- ・時間がもう少しあればさらに質問できたと思う。

【若者の政治参加について】

- ・選挙についてよく考えていなかったが、18歳以上になったら私も選挙する権利があるということをしっかり学んで、市に私たちの声をしっかり届けたいと思った。
- ・18歳になったら足利、日本のために積極的に政治に参加したいと思う。大人になっても足利に住み、自分のまちに誇りを持っていきたい。
- ・若い人の投票率が少なくなってきたことは社会の授業で勉強したけれど、ここまで深刻なものだとは思わなかった。
- ・私たち若い世代が積極的に参加すれば、もっとよりよくなると思った。私も政治について、ニュースや新聞などを見たい。
- ・低い投票率を聞き、父や母、近所の大人などの選挙権を持っている方々に呼びかけをしたいと思った。

3 議員所見

【授業全般について】

- ・まだまだ中学生にとって議員との距離はあるように感じた。
- ・生徒からいかに質問をしていただけるか、議員全員が研究すべきである。
- ・各議員もなれてきて全体の雰囲気はよくなってきたと考える。

- ・議会に対する興味がないのは私たち議員も大いに反省する必要があるが、将来のまちづくりについて考える機会、議論が必要だと思う。
- ・少しの時間ではあるが、中学生と交流することができてよかった。
- ・先生方のフォローもあり、生徒も楽しそうにできていたと思う。
- ・中学生は議会や議員について知らない部分もあるので今後も根気よく取り組むべきと思う。
- ・あくまでも議員側は生徒の質問に対してシンプルに答える部分を徹底し、多くの生徒から質問が出るような雰囲気づくりを心がけるべきと考える。

【実施形式について】

- ・テーマをつくって意見を聞くのもいいのではないか。(例えば、小中学校の一元化や統廃合について等)
- ・授業として考えると、議員からの質問を事前に送付し、生徒から意見を聞く場面もあってよいのではないか。
- ・全体説明は担当した議員により時間管理に差ができてしまうため、各クラスで全体説明と質疑応答を実施したほうが、短い時間を有効に活用できる。
- ・生徒から質問がない場合の呼び水的な話題提供を、議会側であらかじめ準備しておくことも授業の質の均一化につながるだろう。
- ・全体説明の内容は改善する必要がある。議会会派の説明や市民の権利、請願や陳情については内容が難しいので、生徒が関心を持ってないのではと感じた。教科書的な制度の説明より、より実感の持てる表現で説明を構成できないか。

4 総括

今年度の中学生への出前授業を終え、事業の実施に当たりさまざまな課題が見えてきました。今後は、下記の事項に配慮するとともに広報広聴委員会として事業の検証及び改善を行い、より中学生にわかりやすく質の高い事業を実施してまいります。

【実施形式について】

- ・市議会のしくみの全体説明は全校で同じ内容となるよう、議員の所見を交えずに原稿を読むことを徹底する。また、単なる説明ではなく中学生にとってわかりやすく魅力的な内容になるよう考慮する。
- ・各クラスの担当議員については、親しみやすく質の高い授業を展開できるかどうかを配慮し、議席番号にとらわれずに配置するよう工夫する。

【議員の心構えについて】

- ・議員が一方的に話すのではなく、多くの生徒から質問や意見を聞き出せるよう心がける。